小6 中学受験 算数 きほん こたえ　　名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

点の移動とグラフ

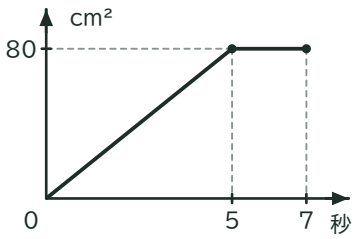
＿＿＿月＿＿＿日

れい 点Pの位置は道のり＝速さ×時間で出し、頂点を通るごとに辺をかぞえて、どの辺の上かを決める
円周上を回る2点は、1秒に進む角度の差で、重なる(360°差)・反対がわ(180°差)を考える

1 辺の上を動く点 基本

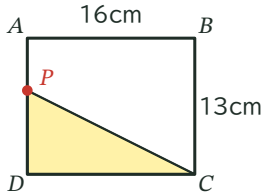
次の問いに答えなさい。

□ (1) 長方形ABCDの辺の上を、点Pが頂点Bを出発して、辺BC、CDの上をC、Dの順に一定の速さで動きます。グラフは、点Pが頂点Dに着くまでの、三角形ABPの面積と、出発してからの時間の関係です。AB＝8cmのとき、点Pの速さは毎秒何cmですか。



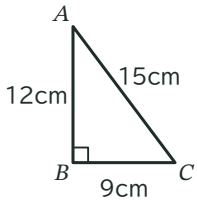
80 × 2 ÷ 8 ＝ 20　20 ÷ 5 ＝ 4　答え 毎秒4cm

□ (2) 図の長方形ABCDで、点Pは頂点Dを出発して、辺DA、ABの上をA、Bの順に毎秒1cmの速さで動きます。三角形PCDの面積がはじめて64cm²になるのは、出発してから何秒後ですか。



64 × 2 ÷ 16 ＝ 8　8 ÷ 1 ＝ 8　答え 8秒後

□ (3) 図の直角三角形ABCの辺の上を、点Pは頂点Aを出発して、A、B、Cの順に毎秒3cmの速さで1周し、Aにもどると止まります。AB＝12cm、BC＝9cm、CA＝15cmのとき、点Pが止まるのは、出発してから何秒後ですか。



12 ＋ 9 ＋ 15 ＝ 36　36 ÷ 3 ＝ 12　答え 12秒後

できた ＿＿＿ / 3問

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら